

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	生活歴や生きがいを介護計画にどう生かすか、又支援をどの様につなげていくかを職員間で話し合い計画を立てていく。	生活歴や生きがいを取り入れた介護計画を作成する。	アセスメントを見直し、今までの生活歴や生きがいを取り入れ、現状に即した計画を作成する。(カンファレンスの回数を増やす)	3ヶ月
2	6	身体拘束の内容と弊害についての知識を身につける。	身体拘束についてのマニュアルを作り、職員間での知識の向上に努める。	マニュアルを作り、定期的に研修などを行い、意識を持つように努める。	3ヶ月
3	35	避難経路の確認やシューターの使い方など災害時に備え、準備することが必要である。	年に1度、避難訓練を行い災害時に備える。	年に1度、非常時に備えて避難訓練を行い、現実的に利用者がシューターを使用できるのか、などの確認や別のルートからの避難も訓練する。	3ヶ月
4	49	近隣の方との交流がとりにくい環境であるため、外出を増やすなどの工夫が必要である。	行事や外出等により、近隣との交流を深める。	買物や外食など、少人数ずつでも回数を増やして、外出する機会を作る。又、イベントも行っていく。	3ヶ月
5	33	終末期について事業所としての方針や理念を定め、職員研修を行うなど対応できる体制を作る。	終末期ケアについての知識を持つために、マニュアル作成や研修を取り入れる。	終末期ケアについての事業所の方針を家族に説明し、受け入れ体制がとれるように、事業所として勉強会や資料作りを行っていくことが必要である。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。